

高等科 ホッケー短期留学について

副会長(強化担当) 横溝宏昌

今夏、高等科 2 年生の有志が、オーストラリアのパースを訪れ、ホッケー短期留学を行うことになった。期間は 2016 年 7 月 22(金)から 7 月 30 日(土)までの 9 日間。強化委員会が中心となり企画し、現地での宿舎やグラウンドの確保、対戦相手等の調査を行い、旅行会社と連携し、パッケージツアー(受注型企画旅行)を組んで実施する。

今回は、はじめての試みとなるため、2 年生を対象として有志による自由参加とした。その結果、高校生 16 名が参加することになった。日本から、高等科担当コーチの小野旭登(あさと)さんと奥様のつかささんが帯同してくれることになり、総勢 18 名のチーム編成となった。

パースでは、午前中に宿舎で語学研修。午後は、元オーストラリア代表フォワード、トリッド・ウッドハウス氏(ホッケーアカデミイを主催)から指導を受ける予定となっている。また、山梨学院大学を今年卒業し、パースのクラブチームにホッケー留学中の山田明季(全日本代表)さんが、アシスタント・コーチ兼通訳をしてくれる予定だ。また、心強いことに、昭和 32 年卒の小坂登先輩の娘(弘美)さんが、結婚されて長年パースに住んでおられ、滞在中のバックアップを引き受けてくださった。

4 月末に事前調査目的でパースを訪問した際、今回もろもろの手配をしていただく旅行会社、サンセット・ドリーム社の塚本社長にたいへんお世話になった。幸運なことに、塚本社長と家族ぐるみのお付き合いをされているご友人のご縁で、パースを代表する名門私立男子校 Hale School(小学 1 年～高校 3 年)を紹介していただいた。パースには、ホッケー部のある高校が、Hale School を含めて 7 校あるが、部活動よりも学校外のクラブチームでの活動が主流で、上手な高校生はクラブチームの選手として活躍しているようだ。その中でも Hale School は、運動部の活動にとくに力を入れている学校として知られている。

ホッケー短期留学を行う高校生たちは、Hale School の人工芝グラウンドを使用させていただきながら、同校のホッケーチームとの合同練習や、試合ができることになった。最終日には、フェアウェルバーベキューパーティーを計画しており、双方の学生たちにとって、今後につながる良い文化交流の場となるに違いない。

桜杖会の前内藤会長は、院長就任にあたって、「勢いのある学習院を目指す」という新たなビジョンを掲げられた。このビジョンは、「文武両道をもって、(学問や知識に偏らない)総合的な人間力を備えた学生を育てる。そのために、教職員が「勢い」を意識し、皆が一丸となって、活力がみなぎるような学習院を目指す」という趣旨と理解している。桜杖会は、院長の目指す文武両道の武、すなわち課外活動の一翼を担う、ホッケー部 OB・OG の集まりだ。桜杖会でも、この「勢い」を念頭に、課外活動を通じて、学生を育てる機会を提供したいという気運が高まっている。そこで、今まで大

学チームが院を代表していた国際交流・海外親善試合の機会を、「高校生にも広げよう」ということが理事会で決まり、今回のオーストラリアホッケー短期留学が実現した。

当会は2019年に創部90周年(女子25周年)を迎える。会の目標は、3年後の記念すべき年に、現役三チームが隆盛になることだ。具体的には、各チームが部員を増やし、院での存在感を増し、良い成績を残し、院の内外にホッケーというスポーツの素晴らしさを広めることだ。大学男女とも一部に在籍(インカレ出場)し、高等科はインターハイ出場する。そんな周年を迎えるべく、今回のホッケー短期留学を成功させたい。

以上